

広報
まつのやま



美人林での成人式

1987 9 月号 (No.139)

9月1日現在 □総人口4,168人(±0) □男2,039人(+3) □女2,129人(-3) □世帯数1,229戸(-2)
()内は8月1日との比較

村山町長

無投票で4期目へスタート

任期満了に伴い実施された町長・町議会議員の選挙告示が八月二十四日行われ、町長には現職の村山氏の他に届け出る人がなく、無投票で四選が確定しました。また、同時に行われる町議会議員には、定員十六名に対し、新人・元など十九名が立候補の届出を行い、かつてない厳しい選挙

となりまして。これは、議員定数が今までの二十名から人口の減少に伴い、四名減の十六名に引き下げられたことによるものですが、前回無投票だったためだけに難しい選挙だったようです。五日間の選挙運動の後、八月二十九日(土)に投票、夜

に即日開票され町民の審判が下されました。結果は、現職十五人・新人一人の十六人の方が当選し、現職二人と元一人の三人が惜しくも涙を飲みました。新議員の党派別内訳は、無所属十四名、共産党二名となっており、議員定数が削減された中で共産党の躍進が目

を引きます。十六名の新議員の皆さん、今後四年間町発展のために頑張ってください。



再選のごあいさつ

松之山町長 村山政光



無投票で四選目を飾った村山政光氏

この度は、町内大方の皆様のご協力を得て、四たび町長に当選させて頂きましたこと、紙上を借りまして厚くお礼申し上げます。

十六年という年月は、いささか長過ぎた感じがしないわけではありませんが、再度、へき地優先、弱者優先の初心に帰り、一人でも多くの方がこ

の土地に住めるように、又、一人でも多くの方が松之山へ往還出来るように頑張りたいと思いますので、何卒倍田のお力添えの程お願い申し上げます。温泉が欲しいですね。温泉塔屋を中心にして、左右に長期滞在型と短期滞在型の老人アパートを造り、長期の方は竹とんぼからファミコンまで何でもある「おもちゃ博物館」を併設して、お年寄りとお中学校的子供達がお互いにおもちゃを通して、教えたり教えられるたり出来たらユニークな明るい老人ホームが出来るとも思います。

建設です。五・六階又は七・八階の建物なら、雪おろしの心配は全くなりません。雪庇はネットを張るだけで充分です。雪のない都会に広い道路と高層ビルがあり、雪国にそれが無いということは、全く逆の現象ではないでしょうか。以上二つは公約でなくて、これからみんな考えてきたり、問題を提起して出来るところから実行に移したいと思いついて見ました。皆さんのご意見・ご批判を是非頂戴したいと思えます。先ずは当選のおん礼まで。ありがとうございます。

松之山町議会議員16名決まる！



松之山
当選 2 回
田辺 慎一



上殿池
当選 2 回
小野塚保夫



赤倉
当選 2 回
村山 里志



天水島
当選 2 回
高橋 定安



中尾
当選 4 回
高橋平八郎



中尾
当選 4 回
高橋 英一



水梨
当選 2 回
相沢 良三



黒倉
当選 3 回
関谷 勲



新田
当選 7 回
田辺 一夫



田妻立
当選 2 回
本山 一夫



天水越
当選 3 回
佐藤 利幸



西之前
当選 1 回
南雲 得郎



天水越
当選 9 回
佐藤 大治



松之山
当選 3 回
田辺 尚二



湯本
当選 2 回
柳 靖治



橋詰
当選 5 回
村山 正英

氏名	得票数
① 田辺 慎一	257 票
〃 小野塚保夫	205
〃 村山 里志	202,580
〃 高橋 定安	191
〃 高橋平八郎	179
〃 高橋 英一	177
〃 相沢 良三	175
〃 関谷 勲	175
〃 田辺 一夫	167
〃 本山 一夫	162
〃 佐藤 利幸	162
〃 南雲 得郎	159
〃 佐藤 大治	158
〃 田辺 尚二	158
〃 柳 靖治	152
〃 村山 正英	146,419
② 樋口 真一	130
保坂 武雄	109
樋口 藤夫	80
合計	3,144,999

当日の有権者数	3,295人	
投票者数	3,157人	
無効投票数	12票	
投票率	男	95.51%
	女	96.08%
	計	95.81%

真夏の雪まつり

帰省客などでにぎわう

やっぱり雪はしゃっぴい！

八月十五日、午後三時から実施された大蔵寺高原での真夏の雪まつり。そのユニークさと珍しさのせいか、お盆の帰省客など約五百人ほどが雪まつりを楽しみました。

競われましたが、チームの力もさることながら、雪の冷たさをどの位我慢できるかが勝負のポイントになりました。観戦している方は気楽ですが、やっている選手は大変。一回やるたびに雪から降りて足を暖めなければ立っていらなくなりますが、そんな

な条件の中でも強かったのが、天水島チームでした。さすがです。雪上つな引き大会が終了後の会場は一般に開放され、子供達がミニスキーやソリ遊びを楽しんでいました。都会から来た方達には、何よりも楽しんでいただけたイベント

だったようです。鉄板焼コーナーやイワナ、ヤマメの塩焼きも評判が良く行列ができるほどでした。今年から始めた雪の貯蔵、けっこう色々な使い方があつたものです。来年は、どんな企画が飛び出す事か、今から楽しみです。



雪上つな引き大会。冷たさをこらえて



ユニークさが受けて大勢の見物人が



雪上開放タイム。子供たちは雪の上で大はしゃぎ

いつまでも 明るく元気で

9月15日 敬老の日



九月十五日は敬老の日。お年寄りを敬い感謝する日です。でも、老人とはいったい何歳からの人をいうのでしょうか？ 老人クラブには満六十歳から加入できますが、六十歳はまだ働き盛り、老人呼ばわりは止めてほしいと思

う人も沢山いると思います。人生五十年といわれた時代からすると、今の平均寿命が八十歳近い時代は、想像すらできない事だったのではないでしょうか。とにかく、今の時代は元気で働けるうちは何歳であろうと頑張る働き、それがまた長生きにもつながるようになっています。

高齢化が深刻な松之山ですが、四月一日現在、総人口四一九四人に対し、六十歳以上の人口は一、三四二人。率にして三二%、三人に一人は六十歳以上の人ということになります。それだけに、お年寄りの皆さんが、家庭や地域で果たす役割も大変重要となって来ます。健康に注意されて長生きをしてください。

松之山町の長寿者

ベスト 20

(9月15日満年齢)

- ① 佐藤 トヨ (藤内名) 98歳
- ② 福原 タマ (天水越) 98歳
- ③ 村山 カツ (赤介) 96歳
- ④ 保坂 タツ (松口) 94歳
- ⑤ 樋口福太郎 (湯山) 92歳
- ⑥ 相沢喜重郎 (水梨) 92歳
- ⑦ 佐藤 ヤス (天水越) 92歳
- ⑧ 志賀 ミキ (松口) 91歳
- ⑨ 相沢シサノ (小谷) 91歳
- ⑩ 久保田ヲヨ (新田) 91歳
- ⑪ 相田 弥吉 (大荒戸) 91歳
- ⑫ 高橋 スミ (中尾) 91歳
- ⑬ 妻嶋 タカ (田麦立) 91歳
- ⑭ 田中 ハヤ (小谷) 90歳
- ⑮ 山口 トメ (藤倉) 90歳
- ⑯ 小野塚カネ (東川) 90歳
- ⑰ 津端 コト (光間) 89歳
- ⑱ 佐藤 なお (天水越) 89歳
- ⑲ 佐藤 マチ (天水越) 89歳
- ⑳ 小口 武男 (松之山) 89歳

郷土史

「松之山郷 南組三十一ヶ村」

を刊行

松之山町教育委員会では、この程、松之山郷土史「松之山郷南組三十一ヶ村」を刊行し、読者の希望を募っています。(一冊千円)

この「南組三十一ヶ村」は松之山郷土史の五冊目にあたり、江戸時代中期から明治初期にかけての松之山の様子や出来事を掲載してありますが、なかでも松之山温泉の土地騒動は今まで表に出た事がなく、貴重な資料といえます。

この執筆をされた町文化財委員相沢和夫氏により、非常に読みやすくとめられています。

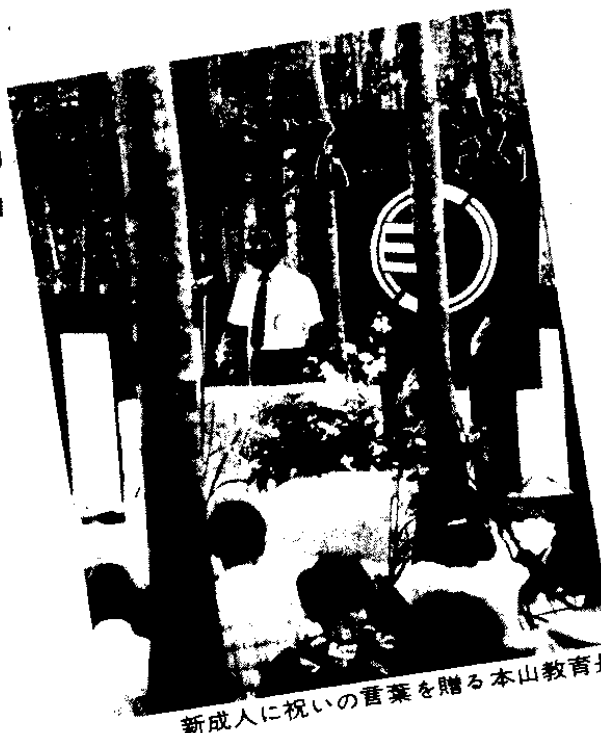
松之山を知るうえで非常に役立つ一冊です。是非読んでいただきたいと思ひます。

成人式でした

毎年お盆の十四日に行っている松之山町の成人式。今年も大勢の成人者が出席して二十歳の門出を祝いました。

今回の成人対象者は九十六人で、その内の八十四人の方が式典に参加してくれました。なお、この中で地元で働いている方は三人だそうです。

今年の成人式で注目を集めたのが式典の会場設定です。記念写真は今まで通り町民体育館で行い、式典を松口の美人林に大蔵寺に貯蔵しておいた雪を運んで行うというユニークなもの。ぶな林の木漏れ



新成人に祝いの言葉を贈る本山教育長

日がさす中での成人式は非常に新鮮で、印象深いものでした。

来賓と地元松口部落の皆さんの拍手で迎えられた新成人たちは、落葉の上に設けられた席につき教育長、町長から開式の辞と告辞を受け、成人としての一歩を踏み出す事になりました。この後、町議会議長が祝辞を行い、これを受けて新成人を代表して高沢美



記念写真は町民体育館で

新成人を代表して高沢美智子さんが答辞をのべました。



ぶな林の木漏れ日と、セミ時雨の中で祝宴が。ステージの雪が冷たそう

思い出に残る



緊張の中で / 後の方では地元の方々が見守る



雪で冷された樽酒で
成人の門出を祝う



青竹で作った器は全て手作り

父から子への
メッセージが贈ら
れる。



智子さんが、「成人式を迎え、その喜びと責任の重さを強く感じます。これからは自分を見失うことなく新しい社会を築くため努力することを誓います。」と決意をのべました。

その後、ステージの雪の中に埋められた樽酒の鏡割りが行われ、そのお酒で全員が乾杯したのち、祝賀パーティに移りました。このパーティで使われた徳利・盃・皿などは、公民館の職員が青竹を利用して作ったもので、自然とまっ

ちして素晴らしい演出効果を発揮して好評でした。

アトラクションでは、雪で作ったステージの上にハダシで上がり、一言ずつ抱負や現在の状況を話して来るという冷たく厳しいゲームが行われ、滑って転びそうになりながらも全員が無事終了することができました。

大自然の中での手作り成人式。いつまでも思い出として残しておいてほしいと思います。

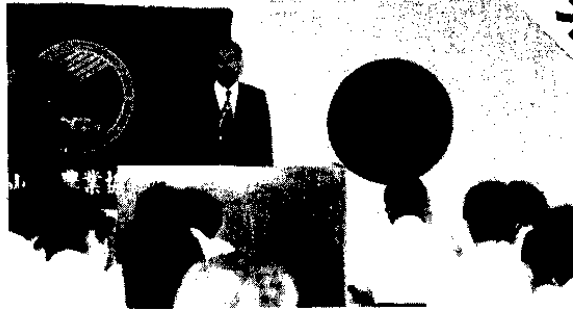


アトラクション 雪の上をハダシで
上り、一言ずつ誓いの言葉を

スタート

新生「松之山町農協」スタート

松之山町農業協同組合発足式



新組合長となった山岸英司氏

長年の願いであった一町一農協がこの程ようやく実現し、八月一日より「新松之山町農協」が発足、スタートしました。

日本の農業が年々追い込まれている中で、特に松之山のよつな米単作地帯は減反・米価引き下げに見られるように、厳しい情勢下におかれております。このような状況の中で話の進んでいた松之山町・浦田

の両農協の合併が成立し、八月一日、自然休養村センターにおいて理事及び全職員が参加して発足式が行われました。

新組合長となった山岸英司氏が挨拶を行い、「今、農業の前途は非常に厳しいものがあるが、組合員の皆さんの協力を得て、新しい農協作りをやって行きたい。」と話され、その後を受けて保坂近良副組合長が合併までの経過報告を

行いました。来賓祝辞のあと山岸組合長から職員一人一人に辞令の交付があり、名実ともに新農協がスタートしました。

規模拡大によるメリツトを最大限に生かし、農家のための農協づくりに頑張ってほしいと思います。



一人一人に辞令が交付された

2 学校菜園で「そば」作り三省小学校

品にしたいと力を入れはじめたもので、現在なかなか栽培している所を見る事ができなくなっているなどの理由から選んだそうです。

この日まいたそばは「信州大そば」という種類で、信州大学で開発した新しい大粒の収量の多いそばです。子供たちは、農協の宮殿指

導員・樋口さんから教えてもらいながら丁寧に一粒一粒まいていました。秋にいつは収穫できるといいますね。

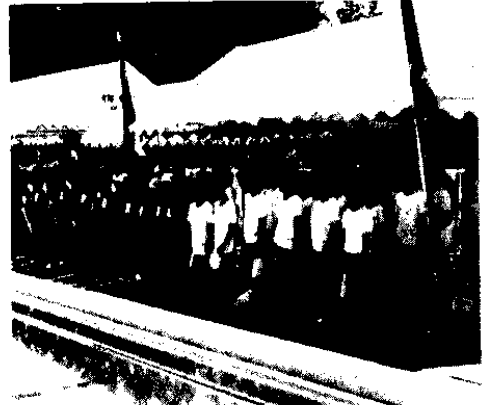


集合日を利用してそばの種まき

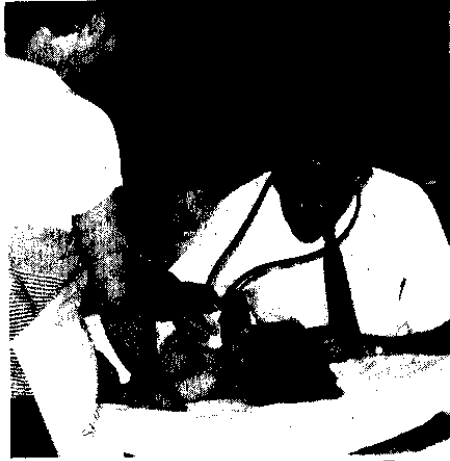
三省小学校では校舎裏にある畑を利用して、じゃがいもやカボチャ、豆などの野菜を栽培して、給食や収穫祭のとき食べていますが、この種、じゃがいもを収穫した後に、そばを栽培することになり、八月十日の集合日に全員で種まきを行いました。

「そば」は町としても特産

3 町内学童水泳大会 5つの新記録誕生



開会式 みんな強そうだなあー！



自然休養村センターでの検診風景

今年も町内各小学校から四年生以上の児童が参加して、親善水泳大会が開催され女子の方で大会新記録が多く生まれました。

七月二十九日、町民プールで行われたこの大会、先生や父田の声援を受けて一生懸命頑張る児童の姿が印象的でした。

各種目に好記録が続出しましたが、新記録のものだけ掲

4 塚先生ありがとう。

乳幼児検診拝見

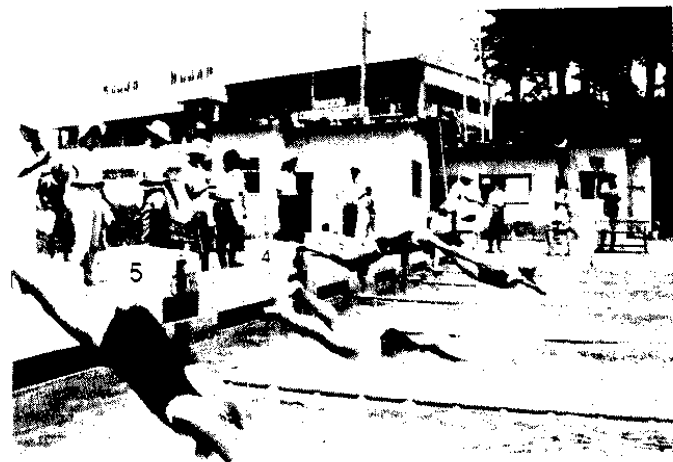
昭和三十五年頃からずっと松之山の子供たちを診察してくれている先生がいます。新潟大学附属病院小児科の塚薫教授がその先生です。

毎年、春・夏の二回、松之山の子供たちの検診をお願いしていますが、今までに重い病気や親の気付かない病気を先生から発見してもらい、早めに処置され大事にいたら

なかつた例など沢山あり、小児科の専門医が近くにいない松之山にとって、大変ありがたい先生です。

今年も夏の乳幼児検診が八月八日に行われ、〇歳〜三歳までの乳幼児が塚先生の診察を受けました。

「田と子二代塚先生からお世話になった」という方も最近多くなつたそうですよ。



さあ スタート。みんなガンバレ



「どれどれ 大丈夫かな？」

診療所だより

9月23日～27日まで

休診

五十嵐先生が全国国保医学会出席のため、二十三日の秋分の日から二十七日の日曜日まで休診となります。注意してください。

今、診療所脇の花壇でひまわりが大輪の花を咲かせています。(背丈も花も大きいです)

これは、診療所の職員が暇



松之山診療所脇の花壇には大きなヒマワリの花がいっぱい

を見つけて手入れして来たもので、本当にきれいに咲きそろっています。

「診療所を訪ずれる患者さん方の、少しでも心の安らぎになれば」と、事務長さんが話していました。

花のある生活。大事にしたいですね。

松之山町美化運動

商工会青年・婦人部

前の広報でもお知らせしました商工会青年部・婦人部の方たちが進めている「松之山美化運動」が、この程、当初の計画をほぼ終了し、町でも取り組んでいるビューティフルふるさと運動に大きく貢献しています。

「花いっぱい運動」と名付けられたこの運動は、花の種類や苗とプランターの配布に始まり、この程、ごみ、空き缶等の投げ捨て禁止の手作り看板三十本の設置と、それに合わせて標語の募集を行いまし

た。ビールの空き缶がまん中に入っている丸い看板に、目をとめた方も多と思います。あの看板には下の方に標語や地名が入っており、観光地案内も兼ねているそうです。また、町内の小・中・高等学校の生徒を対象に募集した美化運動の標語には三〇五点の応募があり、その中から優秀な作品十二点を選び、看板等に記入して美化の呼びかけに役が充てられています。最優秀作品に選ばれた標語

は、松之山中二年・滝沢豊和君の「気づかない 自然の重み忘れずに」でした。このほか優秀作品に三人、入選に八人が選ばれましたが、どの作品にも、「豊かな自然を持つ郷土を大切にしたい」という気持ち、良く表現されています。みなさんも看板を見つけたら注意して見て下さい。

自分たちの住んでいる町を、自ら汚す事のないよう注意したいものです。



観光案内も兼ねるといふ手作り看板が、町内あちこちに建てられました。

9月はがん征圧月間です

「がん」の発生率を高める喫煙習慣

急増している肺がんの死亡率

がんは昭和五十六年以来、日本の「病気による死亡原因」のトップを占めています。がんによる死亡の中で死亡率が最も高いのが胃がんで、その次が肺がんです。

ところがここ数年、肺がんによる死亡率が急上昇しています。肺がんの原因はいろいろありますが、なかでも喫煙との関係については多くの報告があり、いま改めてたばこが問題になっています。たばこ

こと肺がんの関係は、喫煙量が多いほど、また、喫煙開始年齢が若いほど、がんの発生率は肺がんだけでなく、さまざま

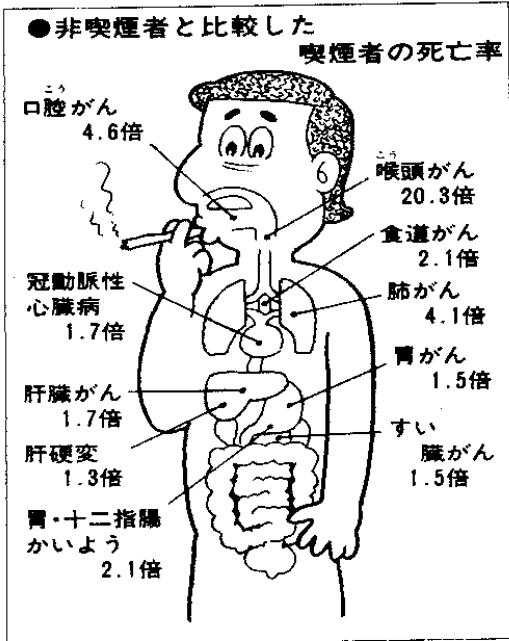
率が高まるといわれています。

例えば、たばこを吸う人が肺がんで死亡する確率は、吸わない人の四・一倍になるというデータが出ています。

また、一日に五十本以上吸う人は、その確率が八・六倍に上がり、それ以上吸う人はさらに死亡率が高くなるといわれています。

さまざまながんに影響を及ぼす喫煙

図で見られるように、喫煙は肺がんだけでなく、さまざま



国民年金

現況届は誕生月に提出を！

国民年金の老齢年金等を支給している人が、提出する現況届は、引き続き年金を受けられる権利があるかどうかを確認するため、毎年一回誕生月に受給者が役場で生存の証明を受けて、直接社会保険庁へ提出するものです。

現況届は受給者の誕生月の末日が提出期限となっています。現況届が提出されませんが、引き続き年金を受けたい場合は、提出された分については、さかのぼり年金が支払われます。ただ、支払いまでに日数がかかることにもなりますので、必ず誕生月の末日までに提出するようにしてください。

なお、現況届の用紙（ハガキ）は、社会保険庁の業務課から受給者に直接郵送されますが、もし、届かなかつたり紛失したときは、早目に役場の年金係に申し出てください。

まながんにも影響を及ぼしています。がんの発生原因が十分明らかでなく、完全といえる治療方法がない現在、喫煙の習慣を改めることは重要な予防方法の一つといえるでしょう。

また、がん検診による早期発見・早期治療は、最も有効な予防方法の一つですので、積極的に受診するようにしましょう。

市町村緑化特別推進事業で 「黒倉十文字公園」を整備



松や桜、ツツジ、山吹などが植えられ、立派に整備された公園

黒倉入口にある十文字公園が、緑化特別推進事業により大変きれいに整備されました。これは、昭和六十二年度、市町村緑化特別推進事業の助成を受けて、公園内の整備をしたもので、松や桜、ツツジ、山吹などの植栽や芝張りが行われ、一〇九万円の事業費をかけました。この整備により十文字公園のすぐ隣にある百体庚申塚とともに、貴重な文化財の一つとして町民や観光客から親しまれる公園となる事でしょう。

小型ボイラーの届出義務 が変わりました

伝熱面積が10㎡未満であっても、バーナーの燃焼能力が重油換算1時間当たり50リットル以上の小型ボイラー設置者は、届出が必要です。

昭和60年9月10日施行の大気汚染防止法施行令一部改正により、規制対象となるボイラーの規模要件が、「伝熱面積が10平方メートル以上であること」という従来の要件に、「伝熱面積が10平方メートル未満のものであってもバーナーの燃料の燃焼能力が重油換算1時間当たり50リットル以上であること」が追加されました。

これに伴う届出等の手続きは次のとおりですので、届出もれがないようご注意ください。
保健衛生係

1 届出等 [届出期限] [届出先]

昭和60年9月9日までに設置の工事が着手された小型ボイラー

(改正施行令62年9月10日以降適用)

昭和62年9月10日以降10月9日までに届出が必要

保健所又は
県公害対策課

昭和60年9月10日以降設置の工事が着手された小型ボイラー

(改正施行令60年9月10日以降適用)

昭和60年9月10日以降速やかな届出が必要

交通事故多発!

死亡事故の 記録更新

県内の交通事故が激増しています。特に死亡を伴う事故が多く発生し、8月11日より連続20日間も死亡事故が続き、従来の17日というワースト記録を更新しました。

死亡者の数も8月30日現在141人と、前年より40人も多くなっています。

高速交通の時代となって、県外からの車が非常に増えています。

事故に十分注意しましょう。



忙中に閑を。

ゲートボール会員募集

六十歳になっても、七十歳になっても、現役でバリバリ働いている戦中派の皆さん、忙がしさの中から、少し暇を作って下さい。自動車にガンリンが不可欠のように、人生にレクリエーションが必要で

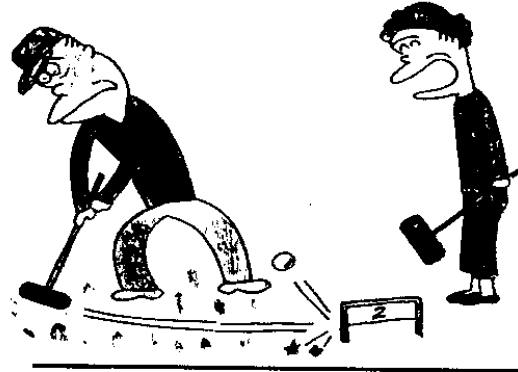
す。
お茶飲み会、酒飲み会も立派なレクリエーションですが、明るい太陽の下で声を出し、体を動かし、適当に頭脳を使うレクリエーション。全国で五〇〇万人を超える愛好者があるといわれるゲートボールは、誰にも出来るスポーツです。

安塚町では婦人が大半、浦川原村一五〇名、松代町一五〇名の会員が、余暇を作ってハツラツとゲームを楽しんでいます。青春を押しつけられて過した戦中派の皆さん、誰

に遠慮がいるものですか、明るい笑いと適当な運動、健康と長寿のためゲートボールを楽しんで下さい。

あなたの部落の老人クラブ会長が役員です。会員になって今以上にゲートボールをやりましょう。お申し込み下さい。

松之山町公民館内
松之山ゲートボール協会



町史編さんだより

町史編集調査執筆委員

決まる

No. 3

松之山町史編集調査執筆委員が選任されました。かねてから町史の編集委員の外に調査執筆委員を選任、委嘱をして編集にかかるとになり、今度二十六名の委員を選任委嘱をし、八月二十二日編集委員並に調査執筆委員の合同会議が開かれました。調査執筆委員の方々は、次のとおりです。

調査担当分野	氏名	職名
自然編	渡辺 隆	上越教育大教授
地形地質	天野 和孝	上越教育大講師
	久保田吉則	東頸理セン専任職員
水分	林 康久	上越教育大教授
	中川 清隆	上越教育大助教授
	竹内 実	頸城中教諭
生物	大悟 法滋	上越教育大教授
	村山 健	日本野鳥会員
	高沢 宏保	春日新田小教諭
	村山 暁	直江津南小教諭
	久保田 均	十日町理セン専任職員
	中村 登流	上越教育大教授
	山岸 秀夫	大島中教頭
	高沢 誠一	新井理セン専任職員
	長谷川康雄	高田養護学校教頭
	中村 俊枝	直江津南小教諭
歴史編	小野塚 正	町文化財委員
考古原始	望月 正樹	南本町小教諭
(近世)	花ヶ前盛明	直江津高教諭
古代中世	田浪 竜之	徳泉寺住職
	中沢 肇	上越文化財委員
近世	室橋 正美	松之山中教諭
近代	新井 一昭	三省小教諭
現代	榎井 章	浦田小校長
	桐原 雅央	松之山高教諭
	皆川 武志	松之山高教諭

研修会で学んだこと 新潟県中学生海の集い

松之山中学校二年生の草村友明君が、夏休み期間を利用して開催された、新潟県中学生海の集い（ジュニアリーダー研修会）に参加してくれました。

この研修会は、八月二十一日から二十六日まで北海道を中心にわれ、集団生活を通して社会参加、知識、技術を学び、リーダー作りを目的に開催されました。ここに参加した草村君から感想文が届いていますので紹介します。



松之山中 2年 草村友明君

僕は、八月二十一日から二十六日までの研修会に参加させてもらいました。

この研修会には、県から九十人が参加しました。研修会の目的は、集団宿泊を通じて社会参加、団体活動に関する知識、技術を学ぶということです。

二十一日、十一時に出船しました。

フェリーの中は少しゆれていたのですが、酔いを感じないか心配でした。一時間もしたら船にもなれました。

二十二日、朝、四時半に起床で少し眠かったです。そして外を見ていた。五時半に小樽港に着きました。それから

ずっとバスでした。札幌の時計台がすごかったです。

二十三日は羊蹄山登山でした。とても高い山で、四時間でやっと八合目に着きました。

この日は少し霧があつて頂上までは登れませんでした。下る時はとても足が痛くなりました。登山は、すごく良かったですと思う。

二十四日に、ふきだし公園に行きました。とても水が冷たいのにはビックリしました。夜のキャンドルサーピスのとき、楽しいゲームをしました。

二十五日、小樽港を十時半に出船しました。夜にさよならの集いということで、各班

から出し物をしました。この集いが終わったら、もうこの研修も終りだなあと感じました。

二十六日、とうとう最後の日です。五時半に下船しました。そして、新潟港で解散になりました。友達が沢山できました。いつまでも、ずっと友達でいようと思います。

この研修で学んだことは、自分勝手な行動をしないで、何事にも皆んなで力を合わせてやり通すという事です。とても良い夏休みの思い出ができました。



お年りや 障害者と 税

お年寄りや心身に障害がある方に対しては、税金の面でいろいろな特典が設けられています。

一、お年寄り本人が受けられる特典

年齢が六十五歳以上で、所得金額が一〇〇万円以下のお年寄りの場合は、本人の所得税を計算するとき、次の控除を受けることができます。

(一) 老年者控除

所得控除のひとつとして老年者控除があり、二五万円を所得金額から差し引くことができます。

(二) 老年者年金特別控除

国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給の収入金額の合計額から老年者年金特別控除として、七八万円を差し引くことができます。

(三) お年寄りを扶養している方が受けられる特典

配偶者控除や扶養控除の対象となる親族が、七〇歳以上のお年寄り（障害者の場合を除く）で所得金額が一定額以下ときは、一人当り三三万円に代えて三九万円を差し引くことができます。

なお、このお年寄りが納税者の直系尊属で、同居を常況

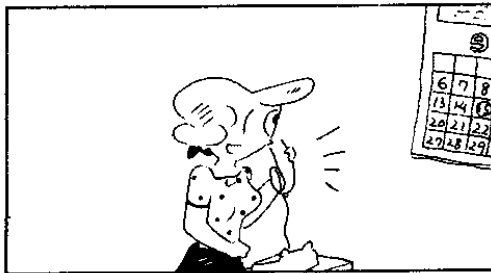
としているときは、更に七万円を加算した四六万円を差し引くことができます。

三、心身障害者本人が受けられる特典

納税者本人が心身障害者のときは、障害者控除として二五万円（特別障害者は三三万円）を所得金額から差し引くことができます。詳しくは役場税務係まで。

わがむらわがまち自慢の逸品まつり

西村 宗



「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」開催

近年、「村おこし」「一村一品運動」と名付けられた地域活性化のための特産品づくりが全国的に活発化しており、新潟県においても市町村・商工団体・農協等が様々な取組みを行っています。

それらの活動を支援し新しい特産品の販路開拓を図るため、県主催で「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」が開催されます。

県内各地域の市町村からバラエティに富んだ特産品が展示即売され、特産品の手づくり実演・特産品のプレゼント・県下のミス大集合など楽しい催しが盛りだくさんに予定されています。
◎松之山町からは、野鳥の里「松之山」で生まれ育った「野鳥こけし」が出品されます。

▶ 会 期

昭和62年 9月17日(木)から21日(月)まで

▶ 会 場

新潟市大和新潟店

昭和63年歌会始のお題

「車」

昭和六十三年、新年歌会始のお題が「車」と定められました。「くるま」「しゃ」と詠んでもよい。

詠進歌はおよそ次のような要領でお出しく下さい。

(一)自作の歌で一人一首とし、未発表のもの。

(二)用紙は、半紙(和紙)とし、毛筆で自書してください。

(三)盲人の方は、点字で詠進しても差し支えありません。

(四)書式は、半紙を横書きに用い、右半分にお題と歌、左

半分に郵便番号・住所・氏名(本名・ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を縦書きで書いてください。

(五)詠進の期間

九月一日から十月十二日まで。

▽郵便のあて先

〒一〇〇 東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁
なお、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

戸籍の窓

おめでた (出生)

千春ちゃん 中島一男さんの長男 (水 梨)

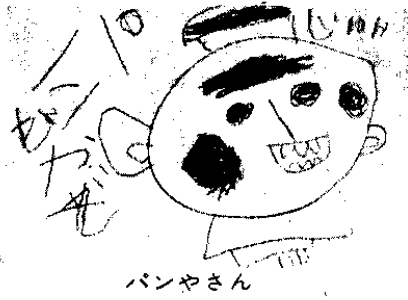
おくやみ (死亡)

本山 健市さん 70歳 (田麦立) 沢
宮沢 トラさん 85歳 (松之山) 松華堂
※ 7月26日から 8月31日までの届出分です

ぼくの絵

わたしの絵

松之山保育所年中組



パンやさん



わたなべじゅんくん

うさぎとおはな



わたしとはな



あいざわみちよさん



あいだりかさん

NHK学園の通信講座で学習を!

NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

▽生涯学習講座(通信講座)

教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など三十七講座です。

○申し込受付 八月十五日(十月十五日)

▽海外在住者コース(通信講座)

海外在住の社会人、青少年が「生涯学習講座」(高校の教養コース)を通信講座で学習します。

○申し込受付 八月十五日からです。

▼詳しい案内書をご希望の方は、お近くのNHKまたは〒一八六

東京都国立市富士見台二一三六 NHK学園八E六六一係に、講座名およびあなたの郵便番号・住所・氏名・電話番号をハガキに記入して請求ください。電話による受け付けもしています。

電話番号は、〇四二五七七二一三二一です。案内書は無料です。

くまのめ

▼八月のできごと

1日 松之山町農協合併式

3日 選挙管理委員会

5日 議会臨時会

10日 町長 町議立候補予定者説明会

14日 成人式

15日 真夏の雪まつり

18日 部落総代会

20日 町長・町議立候補届事前審査

24日 選挙告示日

26日 選挙管理委員会

28日 投票事務打合せ会

29日 町議会議員選挙投票日

31日 当選証書交付日 農業委員会総会

▼九月の予定

1日 老人クラブプレートボール大会

2日 水稲共済損害評価打合せ会

3日 農地流動化推進員会議(休養村センター)

編集後記

7日 臨時議会
28日 議会定例会(29日まで)

夏の暑さとともにやって来た選挙。町議会議員の選挙は、議員定数四人減という影響を受け、かつてない厳しい選挙戦が展開されました。前回が無投票の選挙だっただけに票が読めず、どの候補者も苦勞されたようです。

とにかく、十六名の新議員が誕生し、これからの四年間町のために頑張っていたく事になりました。期待したいと思えます。

さて、季節はすっかり秋。選挙フイバーが終わってホッとする間もなくハセ掛け、稲刈りにと忙がしい毎日です。ケガなどされないよう注意してください。

稲といえば今年是比较的天候に恵まれたせいもあって、作況指数一〇三とやや良いという予想が出ています。豊作はありがたいですが、そのために米の値段が下がるのは困りますね。

広報まつのやま 87年9月号 □毎月1回10日発行

□発行/松之山町(6)3131 □編集/議会事務局